

福祉体験学習メニュー表 2019



【全学年向け】

(新) ボランティア塗り絵 (R元年7月頃完成予定) 3

【高学年(4・5・6年)向け】

(福祉について)

- ①バリアフリー・ユニバーサルデザインってなんだろう?? 4
- ②ボランティアってなんだろう? 5
- ③募金ってどこに行くの? 5

(高齢者)

- ④車いすってどうやって使うの??どうやってサポートするの?? 6
- ⑤おじいちゃんおばあちゃんになってみよう 7
- ⑥おじいちゃんおばあちゃんと交流しよう! 8
- ⑦認知症ってどんな病気?? 9

(視覚障害)

- ⑧見えない世界を体験しよう(色の分からない世界って??) 10
- ⑨点字を体験しよう 11
- ⑩盲導犬ってなあに?? 12

(聴覚障害)

- ⑪手話で心をつなげよう 13

(障害全般)

- ⑫みんな違ってみんないい 14
- ⑬障がい者スポーツを体験しよう 14

(その他)

- ⑭命の大切さを知ろう 15
- ⑮福祉のお仕事ってどんなお仕事?? 15
- ⑯ポルトガル語を身近に体験しよう 16

【貸出教材】

- ①車いす ②点字器・点字版 ③アイマスク
④高齢者疑似体験セット ⑤福祉DVD 他

○（新）ボランティア塗り絵

現在、どの学年でも考えることが出来る「ボランティア塗り絵」を作成中です！！

私たちが生活しているマチの中には、たくさんの方が生活しています。

私たちひとりひとりが、自分たちのマチをつくる主人公！

「だるまちゃん広場」を中心としてさまざまな人が出てくる塗り絵の中から、自分に出来る事はなんだろう??と考えることを目的としています。

自分たちの住んでいるマチの中で、だれかの役に立つこと、だれかに支えられていること、助け合う事…それがボランティア。塗り絵をしながら、自分たちになにが出来かを考えていきます。（令和元年7月頃完成予定）

	必要時間	体験内容
（新） ボ ラ ン テ ィ ア 塗 り 絵	一人あたりの体験時間 30分	（低学年） ※ぬり絵を通して、町の中での困っている人を見つける ※困っている人に自分に何が出来るかな?と考える
	可能人数 40名	
	講師・ボランティア必要人数 社会福祉協議会職員等（2名程度）	
	体験用具・準備物	（高学年） ※自分の住む町にはいろいろな人が住んでいることを理解する ※自分の住む町がどんな街になると、みんなが住みやすい町になるのかを考える
	・色鉛筆 ・クレヨン ・ボランティア塗り絵人数分	備考 ※対象 小学校全学年

※困っている人に気配りする…「きづく」ことから始めよう。

※親切にすると、幸せな気持ちになる。みんながハッピーになるボランティア。

①バリアフリー・ユニバーサルデザインってなあに？

さまざまな人が暮らすまちの中には、ある人は使いやすいものでも、別の人には使いにくかったりすることがあります。こうした問題を解決するものとして「バリアフリー」と「ユニバーサルデザイン」があります。身近なバリアフリーやユニバーサルデザインを知ること、自分の住んでいるまちを違う視点から考えることが出来ます。

ユニバーサルデザイン・バリアフリー	必要時間	体験内容
	一人あたりの体験時間 30分	※バリアフリーとユニバーサルデザインの違い ※自分の住む町にはどんなユニバーサルデザインがあるかな。 ※いろいろな福祉情報を集めて福祉マップを作ろう。 ※新しいユニバーサルデザインを考えてみよう
	可能人数	
	40名	
	講師・ボランティア必要人数	
	福祉用具業者（1～2名程度）	
体験用具・準備物	備考	
	※対象 小学校高学年	



② ボランティアってなあに??

「ボランティア」とは、「自らの意思を持って行動する」という意味です。

一言で「ボランティア」といっても、いろいろなボランティアがあります。

身近なボランティアを知ること、自分たちのまちの身近な問題にも目を向けることができ、みんなで支え合うことの大切さを学ぶことができます。

ボランティアとは	必要時間	体験内容
	一人あたりの体験時間 30分	※ボランティアの種類を知る
	可能人数	※ボランティアをしている人の話を聞く
	40名	※自分に出来るボランティアを考える
	講師・ボランティア必要人数	※ボランティア活動に参加してみる
	ボランティアセンター職員 (1~2程度) ボランティア団体スタッフ (1~2名程度)	
	体験用具・準備物	備考
		※対象 小学校高学年以上

※親切にすると、幸せな気持ちになる。みんながハッピーになるボランティアを考えましょう。

③ 募金はどこに行くの?

学校でも共同募金の時期になると、募金活動をしていただいています。また災害が起きると、募金の呼びかけを行うことがあります。集まった募金はどこにいき、どう使われるのでしょうか?募金することで助けられる人がいることを知ることができます。

募金とは	必要時間	体験内容
	一人あたりの体験時間 30分	※共同募金についての説明 ※募金活動への参加
	可能人数	※校内での募金活動の集約
	40名	
	講師・ボランティア必要人数	
	共同募金	
	体験用具・準備物	備考
		※対象 小学校高学年以上

④ 車いすはどうやって使うの？どうやってサポートするの？

まちの中で見かける車いす。安全な使い方や操作方法を学びます。

車いすの貸出しもできます。

車いす体験	必要時間	体験内容
	一人あたりの体験時間20分 合計1時間30分～2時間	※車いすにのった方の日常生活のお話
	可能人数	※車いすの使用方法和介助方法の説明
	40名	※車いすの体験内容
	講師・ボランティア必要人数	<ul style="list-style-type: none"> ・乗り降り ・段差 ・階段（中学生以上） ・介助 ・坂道
	車いす利用者講師1名 ※屋外へ出る場合は、安全確保のため必要人員の確保が必要（要相談）	
	体験用具・準備物	備考
車いす10台 ※段差やスロープがない場合のみ 踏切板3台・マット6枚	※対象 小学校高学年以上	



⑤ おじいちゃんおばあちゃんになってみよう

高齢者疑似体験用具を装着し、体の動きにくさなどを感じることが出来ます。

高齢者の大変さを知ることができます。

シニアセット 10 セットあり。貸出し可能。

高齢者疑似体験	必要時間	体験内容
	一人あたりの体験時間 30 分 合計 1 時間 30 分～2 時間	※高齢者についてのお話 ※高齢者疑似体験用具の装着
	可能人数	※装着した上での体験内容 ・立ち上がる ・落とした物をとる ・新聞紙を読む ・財布からお金を取り出す ・階段の上り下りなど
	40 名	
	講師・ボランティア必要人数	
	介護施設職員・社会福祉協議会職員等（3 名）	
	体験用具・準備物	備考
高齢者疑似体験セット 10 台、テレフォンカード、新聞紙、硬貨など	※対象 小学校高学年以上	



⑥ おじいちゃんおばあちゃんと交流しよう

実際に、デイサービスや地域のいきいきサロン教室へ訪問し、高齢者と触れ合ったり、高齢者と会話することで、身近に高齢者を感じることが出来ます。

また、地域の高齢者を学校へ招いて、昔の話や高齢になって大変だと思う事、助けてほしいと思うことなどの体験談を聞くことができます。

高齢者交流①	必要時間	体験内容
	45分～1時間程度	※デイサービスの説明
	可能人数	※校区内のデイサービスでの高齢者との交流
	20名	
	講師・ボランティア必要人数	※デイサービスでの高齢者に対するお手伝い
	○校区内のデイサービス職員 1～2名	
	体験用具・準備物	備考
	※対象 小学校高学年以上	
高齢者交流②	必要時間	体験内容
	45分～1時間程度	※地域の高齢者サロンへの参加、交流
	可能人数	※高齢者からの話
	20名	(高齢になって困ることや、助けてほしいこと等)
	講師・ボランティア必要人数	※地域の高齢者を学校にお招きしよう。
	○地域包括支援センター 1～2名	
	体験用具・準備物	備考
	※対象 小学校高学年以上	

⑦ 認知症ってどんな病気？

「認知症」という言葉を最近聞くけど、どういうこと？病気なの？自分のおじいちゃんやおばあちゃんが「認知症」になったらどうしたらいいんだろう…。「認知症」という病気への理解を深めます。

認知症について	必要時間	体験内容
	45分～1時間程度	※認知症の症状の理解
	可能人数	※認知症の行動、接し方
	40名	※認知症サポーターとしての活動
	講師・ボランティア必要人数	
	認知症キャラバンメイト 1～2名	
	体験用具・準備物	備考
認知症サポーター100万人キャラバンDVD 認知症テキスト（小学生・中学生・一般向け） 40部	※認知症サポーター学習を終了した方は、認知症サポーターの証として、オレンジリングをお渡しします。 ※対象 小学校高学年以上	

⑧ 見えない世界を体験しよう

「見えない世界」ってどんな世界なんだろう…。不便なことはないのかな？目が見えないという感覚を自分で体験できます。アイマスクを使っての体験や、実際に視覚に障害をお持ちの方のお話を聞くことで、視覚障害者への理解を深めます。

※アイマスク 貸出しできます

見えない世界を体験しよう！	必要時間	体験内容
	1人あたりの体験時間 30分 合計 1時間 30分～2時間	※視覚障害者の日常生活のお話
	可能人数	※アイマスク体験内容
	60名	・硬貨の選別
	講師・ボランティア必要人数	・やかんからコップに水を入れる
	視覚障害者講師 1名 ガイドヘルプボランティア 4名	・水を飲んでみる
	・一人で歩く	
	※ガイドヘルプのしかたの説明	
	※ガイドヘルプ体験	
体験用具・準備物	備考	
アイマスク 30枚 ハンカチ 体験に使用する道具	※協力団体 ガイドヘルプボランティア「マイ・ウェイ」 ※対象 小学校高学年以上	



⑨ 点字を体験してみよう

視覚に障害を持つ方のコミュニケーションツールが「点字」です。まちの中でも目にすることもあるかと思います。点字を体験し、手の感覚で文字を感じる体験をすることができます。

点字ってなに？	必要時間	体験内容
	1 時間	※視覚障害者の日常生活についてのお話
	可能人数	※目の見えないことについての説明
	40 名	※点字の仕組みの説明
	講師・ボランティア必要人数	※自分の名前を点字器で打つ
	視覚障害者講師 1 名 点訳ボランティア 3 名	※単文を点字器で打つ ※自分で打った点字を講師に読んでもらう ※まちの中に、点字表記があるか探してみる
体験用具・準備物	備考	
点字器（40個）、指定の点字用紙 費用:1 束 100 枚、***円（110kの厚さ）	※協力：福井県点訳むつみ会 越前支部 ※アイマスク体験を事前に行うとより効果的です。 ※対象：小学校3年生以上	



⑩ 盲導犬を知ろう

視覚障害者の目となりお手伝いする犬を「盲導犬」といいます。

「盲導犬」はどんなお仕事をするのでしょうか？

盲導犬と一緒に生活している視覚障害者より話を聞くこともできます。

盲導犬を知ろう！	必要時間	体験内容
	45分～1時間程度	※視覚障害当事者の生活と、 盲導犬のお仕事について
	可能人数	※盲導犬に会った時の注意 事項
	40名	※
	講師・ボランティア必要人数	
	当事者ボランティア	
	体験用具・準備物	備考
	盲導犬と一緒に生活する当 事者の方の派遣を行います。 ※対象 小学校高学年以上	



⑪ 手話で心をつなげよう

聴覚障害者のコミュニケーションツールの一つが手話です。近年では手話がダンスの振付に入る等、馴染みやすいコミュニケーションツールにもなってきました。言葉を使わずに、相手に気持ちを伝えるということ、体験を通して感じることができます。

手話で心をつなげよう	必要時間	
	1 時間程	※聴覚障害者の日常生活のお話
	可能人数	
	40 名	※聴覚障害者のコミュニケーションの方法
	講師・ボランティア必要人数	
	聴覚障害者講師 1 名 手話通訳ボランティア 1 名	※日常生活でよく使う手話を覚える ・こんにちは ・ありがとう ・ごめんなさい など
体験用具・準備物	備考	
手話プリント 40 部	手話ボランティアサークル	



⑫ みんな違ってみんないい

特別支援学校や盲学校での交流を行い、「違い」はユニークな個性。ひとりひとりのいいところをみんなでのばしていこう。

みんな違ってみんないい！	必要時間	体験内容
	45分～1時間程度	※特別支援学校の児童を自分の学校に招待して、案内しよう ※特別支援学校へ行き、同学年と交流しよう
	可能人数	
	40名	
	講師・ボランティア必要人数	福祉施設職員 特別支援学校職員 1～2名
	体験用具・準備物	備考
・特別支援学校の児童との交流		
	※対象 小学校高学年以上	

⑬ 障スポって知ってる？

福井国体が開催されたことで、「障がい者スポーツ」へも関心が高まりました。

障害を持ちながらも、スポーツを楽しむことが出来るように工夫されたスポーツです。

障スポって知ってる？	必要時間	体験内容
	45分～1時間程度	※障がい者スポーツを知る（説明） ※障がい者スポーツを体験する。
	可能人数	
	40名	
	講師・ボランティア必要人数	障がい者スポーツ担当 1～2名
	体験用具・準備物	備考
障がい者スポーツの用品		
	※対象 小学校高学年以上	

⑭ 命の大切さを知ろう

私達は10か月お母さんのおなかの中で成長し、この世に生を受けています。

お母さんが10か月お腹の中で赤ちゃんを育て上げるということはどんな感覚なのでしょう？妊婦体験グッズを用いて妊婦体験を行い、命を育むことや大切に育てられている命の重さを感じることができます。

妊婦体験・命の大切さ	必要時間	体験内容
	45分～1時間程度	※赤ちゃんが生まれることを教えてもらおう（助産師）
	可能人数	
	40名	
	講師・ボランティア必要人数	※妊婦体験をし、お母さんの大変さを感じてみよう
	助産師1名 保健師1名	
	体験用具・準備物	備考
妊婦体験グッズ	※対象 小学校高学年以上	

⑮ 福祉のお仕事ってどんな仕事??

お仕事にはいろいろなお仕事があります。福祉や医療に関わる仕事ってどんなお仕事なんだろう？実際に現場の人のお話を聞いたり、その施設へ訪問し、見学したり体験することで、福祉のいろいろなお仕事が見えてきます。

福祉のお仕事	必要時間	体験内容
	45分～1時間程度	※福祉のお仕事を知る（話を聞く） ※福祉の仕事を見つめる、体験する
	可能人数	
	40名	
	講師・ボランティア必要人数	※聞いてみたい職種の方を派遣いたします。
	福祉職員1～2名 医療職職員1～2名	
	体験用具・準備物	備考
	※対象 小学校高学年以上	

⑯ ポルトガル語を身近に体験しよう

越前市は人口の5%が外国人がを占めています。地域によっては外国人が多く住んでいる地域もあります。世界の中にはさまざまな人種の人と一緒に生活しています。他の国を理解することは、世界から差別をなくすことにつながります。越前市らしい、ポルトガル語を母国語とする方たちとふれあい、文化を知ること、身近に感じることができるようになります。

国際交流	必要時間	体験内容
	1時間～2時間	※違う国の文化を知る ※簡単なポルトガル語を勉強する
	可能人数	
	40名	
	講師・ボランティア必要人数	
	ポルトガル語を母国語とする方 3名～4名 国際交流センター職員 1～2名	備考
	体験用具・準備物	
	※対象 小学校高学年以上	